《第1巻　人間と社会》**第3章　社会のしくみの理解(社会の理解Ⅱ)**

**1．指導の視点**

* 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができるよう促す。
* 社会保障制度の発達、体系、財源等について基本的な知識を理解させる。
* 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者に助言できるよう促す。
* 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解させる。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　生活と福祉**  1.家庭生活の基本機能　　2.家族　　3.地域  4.社会集団と組織　　5.ライフスタイルの変化 | 平成29年  2月9日(木) | 9:30～16:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　社会保障制度(1)**  1.社会保障の役割・意義と歴史　　2.社会保障の目的と機能　　3.社会保障の範囲と機能　　4.わが国の社会保障制度のしくみ　　5.年金保険　　6.医療保険 | 平成29年  2月15日(水) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　社会保障制度(2)**  7．後期高齢者医療制度　8.雇用保険　　9.労働者災害補償保険　　10.社会扶助の概要　　11.公的扶助　　12.社会手当　　13.社会福祉 | 平成29年  2月16日(木) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第3節　障害者自立支援制度**  1.障害の種類と定義　　2.障害者自立支援法から障害者総合支援法へ　　3.サービスの種類と内容　　4.サービス利用の流れ5.自立支援給付と利用者負担　6.障害者自立支援制度における事業者と施設　　7.障害者自立支援制度における組織・団体の機能と役割　8.ライフサイクルから見た支援組織 | 平成29年  2月23日(木) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第4節　介護実践にかかわる諸制度**  1.サービスの利用にかかわる諸制度  2.虐待防止の諸制度　　3.人々の権利を擁護するその他の諸制度　　4.保健医療にかかわる諸制度  5.医療にかかわる諸制度　　6.住生活を支援する諸制度 | 平成29年  2月17日(金) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「社会の理解Ⅱ」の、講師要件を満たします。

○介護支援専門員で実務経験3年以上の方　　○社会福祉士で相談支援業務5年以上の方

○保健師で実務5年以上の方《第2巻　介護Ⅰ》　**第2章　介護福祉士による介護実践(介護の基本Ⅱ)**

**1．指導の視点**

* 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができるよう促す。
* チームアプローチに関わる職種や、関係機関の役割、連携方法に関する知識を理解させる。
* リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を理解させる。
* 介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を理解させる。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　介護を必要とする人の生活の理解と支援**  1.「その人らしさ」の理解　　2.高齢者の暮らしと支援の実際　　3.障害のある人の生活環境の理解  4.介護を必要とする人の生活環境の理解 | 平成28年  12月22日(木) | 9:30～15:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　介護実践における連携**  1.多職種連携  2.地域連携 | 平成29年  1月4日(水) | 野田川わーくぱる（与謝野町） |  |
| **第3節　介護における安全の確保と**  **リスクマネジメント**  1.事故防止,安全対策  2.感染対策 | 平成29年  1月5日(木) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第4節　介護福祉士の安全**  1.健康管理の意義と目的  2.健康管理に必要な知識と技術  3.安心して働ける環境づくり | 平成29年  1月10日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「介護の基本Ⅱ」の、講師要件を満たします。

○介護支援専門員で実務3年以上の方　　○社会福祉士で相談支援業務5年以上の方

○介護福祉士で介護業務5年以上の方　　　○保健師で実務5年以上の方

《第2巻　介護Ⅰ》　**第3章　コミュニケーション技術**

**1．指導の視点**

* 利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得させる。
* 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができるよう促す。
* 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できるよう促す。
* 状況や目的に応じた記録,報告,会議等での情報の共有化ができるよう促す。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　介護におけるコミュニケーション**  1.コミュニケーションの意義、目的、役割  2.コミュニケーションの技法 | 平成28年  12月13日(火) | 9:30～15:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　介護におけるコミュニケーション技術**  1.話を聴く技法　　2.利用者の感情表現を察する技法　　3.利用者の納得と同意を得る技法　　4.質問の技法　　5.相談・助言・指導の技法　　6.利用者の意欲を引き出す技法　　7.利用者と家族の意向を調整する技法 |
| **第3節　介護場面における利用者・**  **家族とのコミュニケーション(1)**  1.コミュニケーション障害の理解  2.視力の障害に応じたコミュニケーション技術  3.聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 | 平成28年  12月19日(月) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第3節　介護場面における利用者・**  **家族とのコミュニケーション(2)**  4.高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術  5.失語症に応じたコミュニケーション技術  6.構音障害に応じたコミュニケーション技術  7.認知症に応じたコミュニケーション技術 | 平成28年  12月20日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **第4節　介護におけるチームのコミュニケーション**  1.チームのコミュニケーションとは  2.記録による情報の共有化  3.会議による情報の共有化 | 平成28年  12月21日(水) | 9:30～15:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「コミュニケーション技術Ⅱ」の、講師要件を満たします。

○介護福祉士で介護業務5年以上の方　　　○保健師で実務5年以上の方

○看護師で実務5年以上の方

《第4巻　こころとからだのしくみ》　**第1章　老化に伴うこころとからだの変化**

**(発達と老化の理解Ⅰ)**

**1．指導の視点**

* 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解できるように促す。
* 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と、日常生活への影響を理解できるように促す。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　こころの変化と日常生活への影響**  1.老化が及ぼす心理的影響  2.自己概念と生きがい | 平成28年  12月26日(月) | 9:30～16:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　からだの変化と日常生活への影響**  1.加齢に伴う身体機能の変化と日常生活への影響  2.さまざまな機能の変化 | 平成28年  12月27日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「発達と老化の理解Ⅰ」の、講師要件を満たします。

○医師で実務5年以上の方　　○看護師で実務5年以上の方

○保健師で実務5年以上の方

《第4巻　こころとからだのしくみ》　**第2章　老年期の発達,成熟と健康**

**(発達と老化の理解Ⅱ)**

**1．指導の視点**

* 発達の定義、発達段階、発達課題について理解させる。
* 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解させる。
* 高齢者に多い病状、疾病等と支援の留意点について理解させる。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　人間の成長・発達**  1.発達との定義  2.発達段階と発達課題 | 平成28年  12月28日(水) | 9:30～15:40 | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第2節　老年期の発達・成熟と心理**  1.老年期の定義  2.老年期の心理的課題と適応  3.要介護状態と高齢者の心理  4.不適応状態を緩和する心理 | 平成29年  1月6日(金) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第3節　高齢者に多くみられる症状・疾病等(1)**  1.高齢者に多くみられる症状・訴えとその留意点 | 平成29年  1月11日(水) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第3節　高齢者に多くみられる症状・疾病等(2)**  2.介護を要する高齢者によくみられる病気・病態 | 平成29年  1月12日(木) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「発達と老化の理解Ⅱ」の、講師要件を満たします。

○医師で実務5年以上の方　　○看護師で実務5年以上の方

○保健師で実務5年以上の方

《第4巻　こころとからだのしくみ》　**第4章　認知症の医学的理解と支援の実際**

**(認知症の理解Ⅱ)**

**1．指導の視点**

* 代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、病状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解できるように促す。
* 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができるよう促す。
* 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できるよう促す。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　医学的側面からみた認知症の理解**  1.認知症とは　　2.認知症の診断  3.認知症の原因疾患と治療　4.認知症の治療と予防 | 平成29年  1月13日(金) | 9:30～16:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　認知症の人や家族への支援の実際(1)**  1.認知症のアセスメント  2.初期の認知症への介護  3.中期の認知症への介護  4. 後期の認知症への介護 | 平成29年  1月17日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　認知症の人や家族への支援の実際(2)**  5. 環境整備  6.認知症ケアにおけるチームアプローチ  7.地域のサポート体制 | 平成29年  1月18日(水) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　認知症の人や家族への支援の実際(3)**  8.家族介護者の理解  9.家族へのレスパイトケア  10.家族へのエンパワメント | 平成29年  1月19日(木) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「認知症の理解Ⅱ」、講師要件を満たします。

○介護福祉士で介護業務5年以上の方　　○社会福祉士で相談支援業務5年以上の方

○精神保健福祉士で実務3年以上の方　　○介護支援専門員で実務3年以上の方

○医師で実務5年以上の方　　○在宅・施設福祉サービスの経験を有する看護師で実務5年以上の方

《第4巻　こころとからだのしくみ》　**第6章　障害の医学的理解と支援の実際**

**(障害の理解Ⅱ)**

**1．指導の視点**

* 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識の理解を促す。
* 障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができるよう促す。
* 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できるよう促す。

**2.科目の内容及び開講日程等**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| **第1節　医学的側面からみた障害の理解(1)**  1.視覚障害　　2.聴覚・言語障害  3.運動機能障害　　4.心臓機能障害　5.腎臓機能障害 | 平成29年  2月20日(月) | 9:30～16:40 | 中丹勤労者  福祉会館  (福知山市) |  |
| **第1節　医学的側面からみた障害の理解(2)**  6.呼吸機能障害　　7.膀胱・直腸機能障害  8.ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害  9.肝臓機能障害 | 平成29年  2月21日(火) | 中丹勤労者  福祉会館  (福知山市) |  |
| **第1節　医学的側面からみた障害の理解(3)**  10.知的障害　　11.精神障害　12. 高次脳機能障害  13.発達障害　　14.難病 | 平成29年  2月22日(水) | 中丹勤労者  福祉会館  (福知山市) |  |
| **第2節　障害児・者への支援の実際**  1.基本的視点に基づいた個別支援  2.家族の状態の把握と介護負担の軽減  3.地域におけるサポート体制 | 平成29年  2月24日(金) | 丹後勤労者福祉会館（京丹後市） |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「障害の理解Ⅱ」の、講師要件を満たします。

○医師で実務5年以上の方　　○看護師で実務5年以上の方

○保健師で実務5年以上の方　○社会福祉士

《第4巻　こころとからだのしくみ》　**第8章　心身の構造・機能と介護における**

**観察のポイント(こころとからだのしくみⅡ)**

**1．指導の視点**

* 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識の理解を促す。
* 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識の理解を促す。
* 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行えるよう促す。

**2.科目の内容及び開講日程等**

| 科目の内容 | 講義日 | 時間帯 | 会場 | 出講の可否 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **第1節　人間の心理(1)**  1.人間の欲求の基本的理解 | 平成29年  1月20日(金) | 9:30～16:40 | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第1節　人間の心理(2)**  2.こころのしくみの基礎 | 平成29年  1月23日(月) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第2節　人体の構造と機能**  1.生命の維持・恒常のしくみ  2.人間のからだのしくみ  3.ボディメカニクスの活用 | 平成29年  1月30日(月) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |
| **第3節　移動・移乗における観察のポイント**  1.移動・移乗を阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント  3.医療職との連携のポイント | 平成29年  2月1日(水) | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第4節　食事における観察のポイント**  1.食事を阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント  3.医療職との連携のポイント | 平成29年  2月7日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **第5節　入浴・清潔保持における観察のポイント**  1.入浴を阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント  3.医療職との連携のポイント | 平成29年  1月31日(火) | 9:30～16:40 | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第6節　排泄における観察のポイント**  1.排泄を阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント  2.医療職との連携のポイント | 平成29年  2月2日(木) | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第7節　着脱・整容・口腔清潔における**  **観察のポイント**  1.身じたくを阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント  3.医療職との連携のポイント | 平成29年  1月26日(木) | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第8節　睡眠における観察のポイント**  1.睡眠を阻害する要因の理解  2.変化に気づくための観察のポイント | 平成29年  1月27日(金) | 野田川わーくぱる  (与謝野町) |  |
| **第9節　終末期における観察のポイント**  1.終末期の理解  2.終末期の変化の特徴  3.死後の対応  4.医療職との連携のポイント  5.家族へのケア | 平成29年  1月24日(火) | 丹後勤労者  福祉会館  (京丹後市) |  |

**3.講師要件**

* 次の資格において「こころからだのしくみⅡ」の、講師要件を満たします。

○介護福祉士で介護業務5年以上の方　　○看護師で実務5年以上の方

○保健師で実務5年以上の方